

## ニューカレドニア

### 主要データ

国名〔英名〕	ニューカレドニア〔New Caledonia〕
面積(km <sup>2</sup> )	18,575
海岸線延長(km)	2,254
人口(人)	279,070
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	15.0
GDP(十億 US\$)	15.54
一人当り GDP(US\$)	55,684.95
主要鉱産物：鉱石	ニッケル、コバルト
主要鉱産物：地金	ニッケル、コバルト
鉱業管轄官庁	産業鉱山エネルギー局 (Direction de l'Industrie, des Mines et de l'Energie)
鉱業関連政府機関	なし
鉱業法	新鉱業法(2009年4月30日施行)
ロイヤルティ	なし
外資法	外資規制に関する第2003-196号政令(2003年3月7日付) および同政令の適用に関する省令(同日)
環境規制法 (環境影響調査制度、 環境・排出基準の有無等)	新鉱業法(2009年4月30日施行)に、環境関連の認可プロセス、 環境回復の義務等の環境保護に関する枠組みが盛り込まれた。
鉱業公社	なし
鉱業活動中の民間企業	SLN(Société Le Nickel)、SMSP(Société Minière du Sud Pacifique)、Eramet、Glencore、Vale、POSCO 等
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、 労働争議、環境問題等)	特になし
2017年のトピックス	Valeはニューカレドニアのニッケル事業の売却を行うこととして おり売却先を選定中である。

### 1. 鉱業一般概況

ニューカレドニアは、1864年にGarnierite(珪ニッケル鉱)の名前の由来となったジュール・ガルニエ(Jules Garnier)によってニッケル鉱石が発見されて以来、世界的なニッケル生産地であり、2017年のニッケル鉱石生産量はフィリピン、インドネシアに次ぐ世界第3位となっている。

近年、VNC(Goro)プロジェクト(Vale)、Koniamboプロジェクト(Glencore)、MMC及びSNNCプロジェクト(POSCO)等、外国企業によるニッケル鉱山・製錬所等への投資が行われている。

数年前のニッケル価格の低迷の影響を受けて、フランスのEramet社の子会社であるSLN社及びVale両社のニッケル事業が苦境に陥った。このため、SLNに対しては2016年にフランス政府が融資の提供による支援を行うことを表明した。Valeはニューカレドニアのニッケル事業において多額の赤字を計上しているとされ、権益の一部を売却することを検討している。2017年11月の報道によれば、Valeは権益売却のための入札を実施したが応札額が想定よりも低かったため売却を1年程度延長する予定であるとされた。しかしながら、これに対してValeは声明を発表し、売却の延長の決定はされておらず、引き続き売却先を選定中であるとしている。

## 2. 鉱業政策の主な動き

特になし。

なお、ニューカレドニアは現在フランス領となっているが、独立の是非を問う住民投票が2018年11月4日に行われる予定である。

## 3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

## (1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2015年 (千 t)	2016年 (千 t)	2017年 (千 t)	対前年 増減比 (%)	世界シェア (%)
ニッケル鉱石・精鉱 Ni 金属純分量*1	186.1	208.8	215.4	3.2	10.8
コバルト鉱石 Co 金属純分量*2	3.7	3.4	2.8	-17.4	11

(出典) \*1: World Metal Statistics Yearbook 2018

\*2: USGS Mineral Commodity Summaries, 2017, 2018

## (2) 主要金属地金生産量

表 3-2. 金属地金生産量

鉱種	2015年 (千 t)	2016年 (千 t)	2017年 (千 t)	対前年 増減比 (%)	世界シェア (%)
ニッケル地金	77.5	96.0	104.1	8.5	5.7

(出典) World Metal Statistics Yearbook 2018

## (3) 主要金属消費量

データなし。

## (4) 主要金属輸出货量

表 3-3. 精鉱・地金等輸出货量

鉱種	2015年 (千 t)	2016年 (千 t)	2017年 (千 t)	対前年 増減比 (%)	主な輸出相手国
ニッケル					
鉱石*1	76.4	81.9	92.0	12.3	韓国、日本、豪州
フェロニッケル*1	55.5	65.4	73.3	12.1	中国、台湾、日本、 インド
マット*1	6.7	4.3	0.0	-100	フランス
酸化ニッケル*2	26.2	-	-	-	中国、韓国、日本
ニッケル酸化物・水酸化物*2	16.7	-	-	-	中国、香港、カンボ ジア

**世界の鉱業の趨勢 2018**

コバルト 鉱石	-	0.0	-	-	豪州
------------	---	-----	---	---	----

(出典)\*1: World Metal Statistics Yearbook 2018

\*2: International Trade Centre

**(5) 主要金属輸入量**
**表 3-4. 鉱石等輸入量**

鉱種	2015年 (千 t)	2016年 (千 t)	2017年 (千 t)	対前年 増減比(%)	主な輸入相手国
鉄鉱石	0.0	-	0.0	-	南アフリカ

(出典): International Trade Centre

**4. 鉱山・製錬所状況**
**表 4-1. 鉱山一覧**

鉱山名	権益所有企業(権益: %)	鉱種	生産量(千 t)	備考
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Thio</li> <li>・ Kouaoua</li> <li>・ Népoui-Kopéto</li> <li>・ Tiébaghi</li> <li>・ Poum</li> </ul>	SLN  -Eramet (56) -STCPI (34) -日新製鋼 (10)	Ni 鉱石 (全品位)	3,209 (wet)	生産量は2017年 (出典: SLN Rapport d'activitié 2017) 2018年8月、鉱山操業に反 対するグループによる妨害 活動の影響で Kouaoua 鉱山 の操業を停止。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Ouaco</li> <li>・ Poya</li> <li>・ Nakety</li> <li>・ Kouaoua</li> </ul>	Nickel Mining Company  -SMSM (51) -POSCO (49)	Ni 鉱石 (全品位) サプロライト鉱 リモナイト鉱	2,190 1,839 215	生産量は2013年 (出典: SMSM Annual Report 2013)
Koniambo	Koniambo Nickel  -Glencore (49) -SMSM (51)	Ni 鉱石 (全品位)	-	
Figesbal (Ballande)	Figesbal (74.5) 住友金属鉱山 (25.5)	Ni 鉱石 (全品位)	-	生産量は非公表
VNC (Goro)	VNC: Vale Nouvelle Calédonie  -Vale (95.0) -SPMSC (5.0)	Ni 鉱石 (全品位)	3,030	生産量は2017年 (出典: Vale アニュアルレポ ート 2017)
Bienvenue	JC Berton Mines (100)	Ni 鉱石 (全品位)	-	生産量は非公表

STCPI: Société Territoriale Calédonienne de Participation Industrielle

SMSM: Société Minière du Sud Pacifique

SPMSC: Société de Participation Minière du Sud Calédonien

**表 4-2. 製錬・精錬所生産状況**

製錬所 精錬所	権益所有企業(権益 : %)	鉱種	生産量(t) Ni 純分量	備考
Doniambo	SLN	フェロニッケル ニッケルマット	56,771	生産量は 2017 年 (出典: SLN Rapport d' activitié 2017)
Koniambo	Koniambo Nickel	フェロニッケル	17,500	生産量は 2017 年 フェロニッケル年間生産能力: 176,000t(Ni 60,000t) (出典:Glencore Annual Report 2017)
VNC (Goro)	VNC	Ni(ニッケル水酸 化物及びニッケ ル酸化物)  Co	40,300  2,780	生産量は 2017 年 (出典: Vale Q4 2017 Production Report) 鉱石処理量:約 400 万 t/年 年間生産能力: Ni 57,000t, Co 4,500t



図 4-1. 主要鉱山、製錬所、精錬所位置図

5. 探鉱状況

ニッケル以外では、米国 Geovic Mining 社がクロム鉄鉱を目的としたミネラルサンドの探査 (Nautilus Mineral Sands プロジェクト) を行っている。

## 6. 我が国との関係

### (1) 日本への輸出

表 6-1. 日本への精鉱・地金輸出量

鉱種	2015 年	2016 年	2017 年	対前年 増減比 (%)
ニッケル				
鉱石(千 t)	1,748.2	1,798.7	1,540.0	-14.4
フェロニッケル(千 t)	22.3	23.9	20.7	-13.4
酸化ニッケル(千 t)	2.5	1.3	0.0	-99.6
コバルト				
地金(t)	262.4	84.3	421.1	399.5

(出典)：日本貿易統計資料

### (2) 日本企業による投資状況等

- ・日新製鋼が SLN 社の権益 10%を保有している。
- ・住友金属鉱山が、Figesbal 鉱山における 25.5%の権益を保有している。
- ・住友金属鉱山は、2016 年 3 月、同社が出資する SUMIC Nickel Netherlands 社を通じて保有していた Vale Nouvelle Calédonie 社の全株式 (7.6%) を、Vale Canada 社に売却することで同社と合意した。また、住友金属鉱山と共に SUMIC 社を通じて Vale Nouvelle Calédonie 社に出資していた三井物産も、同様に全株式 (6.9%) を Vale Canada 社に売却することで合意した。

## 7. その他トピックス

- ・ **専門家委員会がニューカレドニアにおけるソブリンウェルスファンド設立を提言**  
2017 年 2 月、フランス政府が任命したニューカレドニアの経済分析委員会は、ニッケルに過度に依存した経済の多角化を図るためソブリンウェルスファンドの設立をフランスの首相に対して提言。ニッケルによる収入の一部をファンドに充て、価格変動の影響を平準化することが目的。
- ・ **SLN 社、サイクロン上陸により 5 つのニッケル鉱山の操業を休止**  
2017 年 4 月、ニューカレドニアにサイクロン Cook が上陸し、同国で SLN 社が操業する 5 つのニッケル鉱山が操業を休止。製錬所の操業は稼働率を低下させて継続した。
- ・ **Vale、低調なニューカレドニアのニッケル事業を見直し**  
2017 年 7 月、Vale が損失を計上しているニューカレドニアのニッケル事業の見直しを行っていることが報じられた。同社は新たな CEO の下で低調な資産を広く見直すという同社の方針に基づいて事業の見直しを行っている。Vale は短期的にはニッケル価格の回復の兆しがないと述べている。
- ・ **車や鉱山用トラックに対する破壊活動で Ballande 社のニッケル鉱山の操業が中断**  
2018 年 1 月の報道によれば本島の東海岸に位置する仏 Ballande 社のニッケル鉱山において、何者かにより 5 台の車が燃やされたほか、鉱山用トラックや建物が荒らされ損害を受けた。本事件の影響により同鉱山は操業を一時中断した。

- ・ **SLN 社が操業する Kouaoua ニッケル鉱山で火災**  
2018 年 4 月、SLN 社が操業する Kouaoua ニッケル鉱山において、採掘場から港湾施設へ鉱石を運ぶベルトコンベア施設の 3 か所で火災が発生。火災の原因は不明。さらに同年 6 月にもベルトコンベア施設で火災が発生し、31 歳の男が放火の容疑で逮捕されたと報じられている。なお同鉱山では 2017 年にも同様の火災が発生している。
- ・ **SLN 社が操業する Kouaoua ニッケル鉱山が操業を停止**  
2018 年 8 月、SLN 社の Kouaoua ニッケル鉱山において、採掘地の拡大に反対するグループが鉱山へのアクセス道にバリケードを築いて往来を妨害。反対グループは森林伐採などによる環境破壊に反対し鉱山の操業を中止することを主張しているのに対し SLN 社は伐採に必要な許認可は取得しているとコメントした。しかしながら同月、SLN 社は同鉱山について安全上の理由により操業を無期限で停止すると発表した。

(2018. 9. 30 シドニー事務所 山下宜範)